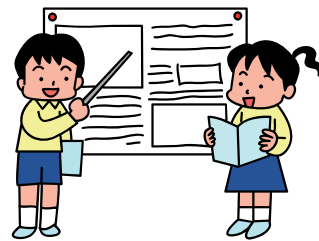


エコのわスクール

全校でグリーンキャンペーン 区立長崎小学校



区内でも有数の歴史を誇る区立長崎小学校。125周年を迎えた今年度、校庭の芝生化とともに「グリーンキャンペーン」と題した環境教育に全校で取り組みました。その発表会の様子をレポートします。

グリーンキャンペーン

長崎小学校創立125周年記念式典が行われた平成22年9月25日。全校児童と先生、保護者、地域の方々などが集まり、グリーンキャンペーンが行なわれました。開会式では、5年生が「芝生化による環境の変化」について、6年生が「CO₂の削減と地球温暖化防止」について、みんなで調べた成果を発表しました。それぞれ最後に「環境を守るために、学校や家庭で自分たちができることを考えよう」と締めくり、積極的に取り組んでいこうという決意がうかがえました。

5、6年生以外の子どもたちも、たたき染めや植物染めなどの体験コーナーや、素敵な押し花のしおりなどの作品の展示など、「環境」をテーマにした様々なブースで、一生懸命に来場者に説明をしていました。それぞれの学年に応じた内容について、全校児童全員で、みんなで教え学び合っているところがとても印象的でした。

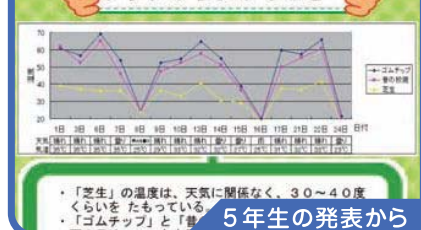
グリーンキャンペーンのあとは、校庭で「芝開き」が行われ、緑に広がる芝生の校庭がお披露目されました。

6年生の発表の様子



6年生は「僕たちが緑の地球を守ろう」と力強く発表しました。手作りのスライドやメッセージをまとめたポスターは、工夫された力作でした。

グラフからわかること



5年生の発表から

昔の校庭と比べて「芝生」の温度は天気に関係なく30～40℃を保っていることがわかりました。



たたきぞめ



木づちでたたいたら、きれいな葉っぱの色が出ました。

芝開き



緑に広がる校庭がお目見えしました。



環境教育への取り組みについて
校長先生にうかがいました

コンクリート校舎、アーバンのグラウンドという近代的な設備の中で、子どもたちが土や虫、鳥に親しんでおらず、自然とのふれあいが不足しているのではないかと、子どもたちの感性を十分に育てていないのではないかと危機感を持ちました。都心でも「感性を育てよう!」という意思があれば、学校内に自然とふれあう環境を作り、子どもたちに提供することが出来ます。芝生化にも取り組みました。校庭は一番広い面積を占めています。今では、子どもが楽しくて、走ってわざと転んでいます。香りや肌触りを楽しんでいるようです。以前はアリの嫌がっていた子どもたちが、今では積極的に自然とふれあい、身の回りには色々な生き物が自分たちの仲間であるということを感じています。環境教育が子どもの心を豊かにし、生き方を変えていきます。こうして学んだことが自分のものになっているという成長が感じられ、大変嬉しいです。環境教育のみが突出するのではなく、他の教科や出来事と関連づけ、子どもの中で全てが一つになって「なるほど!」と納得できることが理想です。

長崎小ホームページ

http://www.toshima.ne.jp/~nagasa_e/

校庭の芝生化の様子を見ることができます。

御蔵島交流授業



また、長崎小ではこの他にも、御蔵島との環境交流授業を、5年生対象に行ないました。御蔵島の豊かな自然を通じて、生物多様性の大切さや豊島区の環境について学びました。授業の締めくりには、島の特産品である「ツゲ」や「クワ」などの苗木を植えました。

御蔵島の苗木を植樹



「大きく育ちますように!」願いを込めてみんなで植樹。